

令和4年度 医療安全シンポジウム（Web開催）開催要項

1. 開催主旨

医療においてチーム医療の重要性が説かれて久しく、多職種によるチーム活動が推進されている。医療事故の根本原因の7割はコミュニケーションエラーといわれ、チーム内のコミュニケーションは患者安全の推進にとって重要である。

各病院や施設では、チームトレーニングとして様々な取組みが行われているが、一人ひとりのスキルはアップするが、組織的に根付きにくいという課題がある。近年、エイミー・C・エドモンドソンが提唱している「心理的安全性」という概念が医療安全を考える上で重要な概念として注目されている。

「心理的安全性」とは、組織の仲間が互いに信頼・尊敬し合い、率直に話ができるなど、対人関係のリスクをとっても安全だと信じられる環境を意味している。この心理的安全性は組織のチーム学習や創造性に影響を与えるものとされており、組織における安全文化の醸成を促進する概念であると考えられる。

患者安全推進における「心理的安全性」について学び、実践報告から参加者が安全文化醸成のための方策を学ぶことを目的に開催をする。

2. 開催日時

令和4年10月15日(土) 13:00～16:15

3. 開催内容

テーマ：医療安全文化の醸成に向けて

～心理的安全性を理解して組織を変えていこう～

プログラム：別紙参照

4. 開催場所

ZOOMを用いたオンライン開催

5. 対象

看護師、薬剤師、医師、その他の医療従事者

6. 定員

250名

7. 申込期間

令和4年9月1日(木)～10月7日(金)

8. 参加費

京都府看護協会 会員・会員外共 1,000円

他職種 1,000円

13:00～13:10	開会 挨拶 公益社団法人京都府看護協会 会長
13:10～14:40 (90分)	<p>基調講演</p> <p>「医療チームにおける心理的安全性の重要性とその活用」</p> <p>講師 辰巳 陽一 近畿大学医学部附属病院 安全管理部 教授</p> <p>座長 橋元 春美 公益社団法人京都府看護協会 第二副会長 (京都府立医科大学 保健管理センター 健康管理統括管理者)</p>
(10分休憩) 14:50～16:05 (75分)	<p>シンポジウム</p> <p>「多職種によるチーム活動の現状と課題」</p> <p>シンポジスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全管理者の立場、看護師の立場から 林 知江美 公益社団法人京都府看護協会 医療安全委員会 委員 (三菱京都病院 副看護部長 医療安全管理者) ・薬剤師の立場から 宮川 貴誌 三菱京都病院 薬剤部 薬剤師 ・辰巳 陽一 近畿大学医学部附属病院 安全管理部 教授 <p>座長 松村 由美 公益社団法人京都府看護協会 医療安全委員会 委員 (京都大学医学部附属病院 医療安全管理室 室長)</p> <p>夏目 君幸 公益社団法人京都府看護協会 医療安全委員会 委員 (一般社団法人京都府薬剤師会 理事)</p>
16:05～16:15	閉会 挨拶 一般社団法人京都府薬剤師会 会長